

第20回 パルシステム神奈川ゆめコープ 市民活動応援プログラム 市民活動支援金助成団体一覧

支援団体数：18 団体

支援金総額：400万円

パルシステム神奈川ゆめコープは、豊かで元気な地域社会をつかっていくため、地域の市民活動を応援しています。

第20回市民活動応援プログラム市民活動支援金に応募いただいた35団体のうち、18団体に支援金助成を決定しました。

(順不同)

No	団体名 所在地 ホームページ	■主な活動分野 ■団体紹介	支援金額	支援金使途
1	北鎌倉台峰緑地保全会 鎌倉市	■環境 ■北鎌倉に広がる台峰緑地を中心に活動しています。月3回の里山手入れのほか、子どもたちと自然のなかでの野遊び、小学5年生を対象にした里山手入れの実演とレクチャーや、地域の文化団体の企画に協力しています。年2回のお餅つきには100名を超える参加者があり、地域社会の活性化に貢献しています。	13万円	草刈機の燃料・替刃の購入費用にあてて個人負担を軽減し、だれもが参加できる会として継続していきたい。
2	特定非営利活動法人 RCB 大口夢 横浜市 ホームページあり	■地域づくり ■大口商店街を元気にしたい！という想いで「地域食堂」を立ち上げました。商店街の飲食店が連携して、ひとり親の子どもたちやひとりぐらしの高齢者に、安全・安心な料理を低価格で提供しています。立ち寄れる場をつくり、つながる地域食堂として地域に貢献したいです。	30万	食材の購入費にあて、開催店舗を増やし、もっと多くの方が利用できるようにしたい。
3	東大跡パラスポーツの会 二宮町	■地域づくり ■二宮町内の旧東大果樹園跡地にて「参加者の健康づくり」と「共生のまちづくり」を目的に、健常者中心のボランティアとともにパラスポーツを行っています。また、パラスポーツ体験会などをとおして地域住民と交流を深めています。	17万 8千円	広報チラシの作成と、パラスポーツ用具の貸し出し制度を始めるための用具購入・整備の費用にあてたい。
4	三浦半島活断層調査会 逗子市	■防災・地域安全 ■三浦半島の活断層型地震は全国的にみても発生確率が高いとされています。断層などの調査研究を行い、その成果を講演会や現地観察会などで地域住民に報告し、自然災害の怖さを伝えることで減災に役立っています。三浦半島には活断層が5カ所ありますが、ほかにもあるといわれているので、その調査も続けたいです。	7万 8千円	屋外観察会用にハンドフリー型メガホンと、毎回の借用負担をなくすためにプロジェクターを購入したい。
5	ずし平和デー実行委員会 逗子市 ホームページあり	■平和・人権 ■逗子市内で平和について活動している5~10団体が集まり、8月の1週間に、講演会やコンサート、人形劇、映画上映などを行う「ずし平和デー」を開催しています。イベントをとおして、戦争の悲惨さや平和の大切さ、いのちの尊さについて考えてもらえるよう、子どもからおとなまで幅広い年代を対象としたイベントを企画しています。	15万円	10周年企画として、例年のイベントより規模を大きくする予定なので、会場費などにあてたい。
6	じもたんkids 川崎市 ホームページあり (facebook)	■子どもの健全育成 ■子どもたちが地域のいろいろな方を取材し、「じもたん kids 新聞」と「宮前の働く人事典」を発行しています。子どもたちが自分で考え質問する力、表現する力を身につける機会となっています。取材をとおして地域のコミュニケーションの輪が広がる活動を、今後も続けていきたいです。	30万円	1年6回の「じもたん Kids 新聞」、1年に1度の「宮前の働く人事典」の発行部数を増やしたい
7	子育て支援団体リノアス 横浜市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■地方からの転居で知り合いがないなかでのアウェイ育児や、ひとりですべてをこなすワンオペ育児の大変さを知り、母親が元気になる場所づくりをめざし、「親と子のつどいの広場キッチン」を運営しています。ほかにも赤ちゃんカフェや育児支援イベント、子育て支援会議への出席など、鶴見区で活動しています。	30万	つどいの広場キッチュを移転しなければいけないので、移転先にエアコンを購入し活動環境を整えたい。
8	NPO 法人 女神の子どものためのネットワー ク会議 横浜市	■子どもの健全育成 ■日本各地から里母やリーダー候補者が集まり、女性リーダーセミナーを開催。それぞれの実践体験を共有し、事例検証することでスキルを身につけています。また、ネットワーク化することで参加者がそれぞれの地域に戻ったときに伝えやすくなり、地元里母への波及効果が期待できます。	29万 8千円	東北・関西・九州など遠方からの参加も多いので交通費の補助と、セミナーの会場費などに使用したい。

No	団体名 所在地 ホームページ	■主な活動分野 ■団体紹介	支 援 金 額	支援金使途
9	NPO法人 マナビノキ 鎌倉市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■山、川、海などの自然と、さまざまな産業、歴史、文化に恵まれた神奈川県 <small>の地域性を生かし、体験型のワークショップやキャンプなどの活動をしています。子どもたちが地域や社会に積極的に参画し、「なりたい自分」を思い描きながら、夢や希望をもって成長してほしいと願っています。</small>	20万円	ホームページを刷新したり、チラシを制作し、子どもたちの活動をより多くの方に知ってもらいたい。
10	特定非営利活動法人 湘南まぜこぜ計画 藤沢市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■毎週1回、子どもが誰でも来られるオープンな場所を提供し、地域のおとなと多世代交流をしています。自己肯定感が低い傾向の子どもたちが「自分らしくいられる場所」として、居場所を小学校校区にひとつ以上つくることをめざしています。	26万 4千円	子どもの生活実態調査を行った結果をまとめてパンフレットにし、地域の方と情報を共有したい。
11	特定非営利活動法人 みんなのお箸プロジェクト 横浜市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■箸使いは家庭で教えていましたか？核家族化が進み、親たち自身も正しく箸が使えず、教えることができないのが現状です。箸使いを学ぶ機会をとおして多世代の交流を深め、子どもの育成と地域社会を活性化させたいと思っています。	30万円	新デザイン版の「箸使いの冊子」の費用にあてたり、工具をそろえてお箸キットの生産量を増やしたい。
12	理科で遊ぼう会 相模原市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■子どもの理科離れの改善をめざし、教職員経験者や企業の研究技術職などのスタッフが、講座内容を検討し、実験教材を作成して、講座を実施しています。子どもたちが、ものづくり・観察・発見をとおして、考える喜びを体験できるように実験講座を続けていきたいです。	27万 8千円	小学校で開く無料講座は年間58クラスほどあるので、そこへ行くまでのスタッフの交通費にあてたい。
13	あいあいリトミック 平塚市	■子どもの健全育成 ■障がいのあるなしにかかわらず誰もが楽しめる音楽活動を行っています。未就学児親子や小学生に向けたリトミック、高齢者向けの音楽療法、コンサート活動などで、年間約1千人以上の方が参加しています。目標は子どもから高齢者、障がいのある方など、相互理解を深め思いやりをもって助け合える社会の実現です。	23万 4千円	楽器やフラフープ等の用具を購入して活動内容を充実させ、チラシを製作して参加者を増やしたい。
14	さくらんぼ 横浜市	■子どもの健全育成 ■2018年度末で横浜市南区の外国人中学生向けの学習支援教室が終了しました。共進中学校以外に通う生徒の支援教室がなくなったため、有志で立ち上げました。言葉の壁による学習困難や、話せる友だちができてくれないなどの状況や不安を少しでもやわらげ、自立するための手助けができればと考えています。	30万円	学習支援ボランティアの交通費補助と、そのほか支援活動に必要な資金にあてたい。
15	一般社団法人 アカデミーキャンプ 藤沢市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■東日本大震災と福島第一原子力発電所事故をきっかけに活動を開始しました。福島県の小中学生とキャンプをとおして、新しいことに挑戦したり、経験を積み、未来をいっしょに築いていける仲間づくりをしています。首都圏からのボランティアを採用することで、首都圏でも主体的にかかわれる方を増やしています。	24万円	福島県内を移動する際の貸し切りバス代と、ボランティアスタッフの交通費にあてたい。
16	ただいまキャラバン 川崎市 ホームページあり	■震災支援 ■福島第一原子力発電所の事故当時に小学生だった子どもが参加できる保養が少ないので、対象年齢を広げて小学校高学年～高校生向けに、放射能の低い地域に行き保養を行っています。福島の子もたちに寄り添い、何かあったらいつでも帰って来られる場所をつくりたいと思っています。	15万円	次回で第4回目となるサマースクールの参加者や送迎スタッフの交通費にあてたい。
17	NPO 法人 こども達に未来を in 湘南 藤沢市	■震災支援 ■子どもたちが安心して過ごすことのできる環境と社会づくりに寄与することを目的に活動しています。これまで毎年2回の保養事業を18回実施しました。これからも保養プログラムを継続していきたいです。	30万円	送迎バスの費用と宿泊費にあて、これからも保養プログラムを継続していきたい。
18	3.11 つなぐっペシ 逗子市 ホームページあり (facebook)	■震災支援 ■東日本大震災の復興応援活動と逗子葉山の地域防災活動を目的とし、募金活動や防災紙芝居の作成と上演などを行っています。震災から9年目を迎える2020年3月11日に、学生主催の復興イベント「ZUSHI ROCK FESTIVAL」を計画しています。	15万円	2020年3月11日に復興支援フェスティバルを開催したいので、プロのミュージシャンの出演料にあてたい。